

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市青年文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人仙台市市民文化事業団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 令和4年度 306,775人(前年度比372%) 令和3年度 82,539人(前年度比331%) ※大規模改修のため令和3年9月30日まで休館 令和2年度 24,961人 ※大規模改修のため令和2年10月5日より休館</p> <p>《事業》 施設の管理運営に加え、様々なパフォーマンスを通して垣根を越えた交流を楽しむ「パフォーマンスフェスティバル」等、青年文化センター活性化事業を行っている。また、指定管理者の事業部門と連携し、音楽、演劇、ダンス等の公演及び普及啓発事業を主催している。</p>	
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 360,071千円 (318,379千円) その他市が負担した費用 11,438千円 (2,935,047千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 120,816千円 (40,664千円) その他収入 14,586千円 (8,019千円) 	
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「利用者アンケート」の実施(令和4年12月) 施設利用者に利用案内用紙を配布し満足度を調査・対応(通年) 「意見箱」に寄せられた意見・要望等に対する回答を掲示(通年) 	

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設運営上の基本方針について、職員全体会議等で日頃から職員間で共有しているほか、受付窓口やホームページにより利用者への周知を行っている。 その他、ホームページの充実や施設の活性化に資する事業の実施など利用者増加のための取り組みの継続、地域と連携した事業実施による青少年の活動支援、文化活動団体への情報発信支援などを通じて、施設目的の達成に向けて適切に運営している。	27/27
II 施設の運営管理体制	仕様書や事業計画書の内容に沿った適切な人員配置、指定管理料の執行がなされており、概ね良好である。使用料精算事務における書類の確認の体制で一部課題があったものの、早急に必要な対策を講じ、職員の意識向上を図る取り組みも行っている。また、職員と各委託業者がそれぞれ施設の点検を行い事故防止に努めており、過去の事故内容等の記録も事務室内で保管・共有されている。さらに、防災訓練に関しても地域の文化拠点として新たな取り組みを行うなど災害等発生時の対応体制が確立されており、適切な運営管理体制が敷かれている。	29/30
III 施設・設備の維持管理	利用者が施設を快適に利用できるよう、定期的な清掃や外構の植栽管理などを通じて衛生管理、美観維持に取り組んでいる。また、日頃から施設・設備の確認を行い、発見された不具合等は迅速に対応している。 備品については、設置場所や保存状態等を網羅したデータベースを作成するなど、適切に管理されている。	24/24
IV サービスの質の向上	「待遇に関する対応マニュアル」が職場内で共有されており、職員のマナー向上のための取り組みが適切になされているとともに、定例的な研修に加え、施設運営に求められる新たな視点を取り入れた研修も企画するなど、職員の質の向上のための教育が強化されている。年1回実施している利用者アンケートのほか、意見箱の設置や施設利用者からの状況報告を通じて利用者の意見を伺い、可能なものから迅速に対応している。また、利用促進のための取組みとして、様々な媒体を活用した情報発信を不断に行っている。	29/28
V 施設固有の基準	施設の休館日を活用して修繕を実施するなど、利用者の利便性向上を図る取り組みを継続して行っている。また、使用許可に係る事務や再委託業務の手続き等について、協定書や仕様書に基づき概ね適切に行われている。 市民との協働企画のイベントの実施やオープンスペースにおける仙台フィルの創立50周年をPRするブースの設置など、施設の活性化や市民に親しまれる施設づくりに取り組まれている。	33/31

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市市民文化事業団）による自己評価》
<p>施設運営上の基本方針は職員会議をはじめ、デジタルノートブック等により共有し、個人情報保護や各種法令等を遵守しながら協定書等に基つき適切な業務執行に努めた。</p> <p>長引く新型コロナウイルス感染症対応については、仙台市と協議を重ね迅速に対応するとともに、不断の点検実施により施設の安全利用に取り組んだ。</p> <p>前年度に引き続きコロナ禍の影響を受けながらも、市内他施設の改修工事に伴う休館による影響と考えられる新規利用者の拡大など、例年にならない利用実態があり、コロナ禍前に迫る利用者数となり、利用者アンケート結果では継続して高い評価が得られた。</p> <p>大規模改修工事を終え、これまでに経験のない工事対応に関するノウハウや重要事項などについては、今後仙台市で行う改修に寄与できるよう財団内他施設管理関係者ほか、他財団他施設管理関係者に対して経験を踏まえた各種情報提供を行うことができた。</p> <p>事業では、館の魅力を高める「第2回パフォーマンスフェスティバル」を、クラウドファンディングを取り入れながら、他課との協働により継続して取り組んだ。</p> <p>初の試みとして有観客での「避難訓練コンサート」をコンサートホールを会場で実施し、来場者とともに防災意識の向上を図り、職員の対応能力を高めることができた。</p> <p>財団所蔵の書籍文庫の継続設置や館保管レコードの展示事業では、文化情報に触れる機会や交流の場の提供により、劇場法にうたわれている「新しい広場」として館の機能を高めた。</p> <p>楽都事業の拠点として、仙台クラシックフェスティバルのチケット販売や当日運営協力を行ったほか、館を拠点としている仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力し、エントランスホールに楽団50周年記念のパネルを展示した。</p> <p>地域連携では旭ヶ丘地区において良好な関係を育み、協働事業に継続的に取り組むなど成果をあげている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>職員全体会議や訓練等による職員間の情報共有及び啓発に努めており、事故や災害を含めた様々な事象に対応できる体制が構築されている。また、施設の維持管理について、利用者が施設を快適かつ安心・安全に利用できるよう、衛生管理、美観維持が徹底されているとともに、施設内の不具合対応などが迅速かつ適正に行われている。サービスの質を向上させる取り組みとして、接遇に関するマニュアルが職員間で共有され、適切に活かされている。令和2年度及び令和3年度については、コロナ禍による影響や、令和2年10月5日から令和3年9月30日まで実施した大規模改修工事により、施設が休館となり利用実績は例年に比べ極端に減少したが、令和4年度については引き続きコロナ禍の影響を受けながらも、市内他施設の休館等により新規利用者が拡大し、コロナ禍前に迫る利用実績となった。</p> <p>施設利用者アンケートにおける「総合的な満足度」の項目で「とても満足」「満足」の回答の合計が全体の8割を超えており、日頃からの適切な対応及びサービス向上に向けた取り組みを行っている成果であると認められる。</p> <p>事業企画や運営においては、施設の特性を最大限に活用した大規模な自主事業の実施や、「楽都」を代表する音楽イベントである仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルなどの運営支援、及び「楽都」のシンボルである仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめとした音楽団体の活動支援など、施設の魅力を存分に活用し、本市の文化振興に大いに貢献したと認められる。</p> <p>全体をととして特に、障害のある方への「合理的配慮」についての研修やほじょ犬用トイレの設置など、施設のサービス向上等に積極的に取り組まれたこと及び市民との協働企画のイベントを実施し、幅広い年代の市民から親しまれる施設づくりに取り組まれたことを評価する。</p> <p>一方、使用料精算事務における書類の確認体制で一部課題があったため、今後は適正な管理に努められたい。</p> <p>以上より、令和4年度における当該指定管理者の青年文化センター管理運営業務については、概ね良好であったものと評価する。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部文化振興課